



# ネリーズ通信

第22号 2022年3月



編集発行責任者 社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会

## ネリーズ紹介No.19

ネリーズは日々の暮らしの中で、近隣の方たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守りあい、誰にとっても暮らしやすい地域づくりを目指している地域の皆さんです。

荒木さんは光が丘地区で中高生向けの学習支援「練馬無料塾」を運営されています。

7年ほど前に区報で初めて募集した時は講師はご自身お一人、応募してきた数名の子供たちに教え始めたのですが、必要とされる声に応える中で、今は教える仲間も生徒も増えました。いつも会場としている光が丘ボランティアコーナー会議室でお話をうかがいました。

### 光が丘地区

あらき ゆたか

荒木 豊さん

### 自分にできることで、地域のお役に立ちたい。

以前に国分寺の学習支援にボランティアとして参加していましたが、自分の住む地域でも必要としている人がいるんじゃないかと思立ち、「練馬無料塾」を始めました。経済的な理由で学ぶ機会がない子ども達に学ぶ機会を持ってほしい、自分にできることでなにか地域のお役に立てればと考えたのがスタートです。

教える側は「分からない」「できない」という人の気持ちが分からないので、なんでできないの?と勝手に思ってしまうのですが、例えば逆上がりができない子にどう伝えるかをイメージしながら教えるように心がけています。

そうする中で、教えていた子が進学できたと報告してくれると、やっぱりほっとして嬉しいです。

対象は中学生・高校生としてますが、色々なところから相談され、高卒認定を目指す大人や外国籍の小学生とそのお母さん、障害のある人に関わったこともありました。自分の力不足を感じたり、受験や試験の結果として見える形で成果が出ないとジレンマを感じることもあります。それでも必要とする人がいて、自分にできることがあれば、これからもここで続けていきたいと思っています。



出来ることを続けてきただけと語られるとても謙虚な荒木さんですが、静かな情熱がひしひしと伝わってきました。一人でもできることがあると信じ一歩を踏み出す姿勢や「自分にできることを」と活動続けるひたむきさに勇気づけられました！



### 山彦作業所※の坂元さんが選んだ一枚

何かをしてあげようとか、何かの役に立ちたいということではなく、知ること、知り合うことが結果として助け合いの始まりになるのではないのでしょうか。

※山彦作業所: 障害のある人が仕事など日中活動を行っている練馬区富士見台にある作業所です

### 私の一枚 ~ネリーズかるた~

#### し 知ることが 関係作りの 第一歩

読み札の作者エピソード: 相手を知らない構えてしまいがちですが、知ることによって仲良くなれました。

ネリーズかるたとは... ネリーズになって気づいたことなど、ネリーズ懇談会などで教えていただいたエピソードをもとに、標語や絵もネリーズの皆さんにご協力いただき作成されたかるたです。「私の一枚」選者も募集中です!!



# ネリーズ懇談会の様子をお届けします！



“様々な人との出会いを通して、多様性を知る機会をつくりたい”そんな思いで企画をした今回の懇談会は、不登校の子どもの居場所活動を行っている「なゆたふらっと」で開催しました。代表の鈴木さんやスタッフの方たちとの交流を通して、ネリーズのみなさんから出た感想を一部ご紹介します♪

『何年生？』ではなく、『何才？』と聞いてあげて。どこかに所属している〇〇ちゃんではなく、1人の〇〇ちゃんと捉えてほしいです。



代表 鈴木さん

より重要なのは「人間関係の貧困」にならないこと。



不登校の子、と聞くと公園でひとりポツンとしているというイメージをもっていました。今日話を聞いて、違うことに気づきました。明るい子どもたちなんですね！



ネリーズAさん



スタッフF.Yさん

ママ友からこの活動を聞いて参加しました。私自身が居場所がほしくて来ています！



ネリーズBさん

こういった活動をしている団体が身近にあると初めて知りました。必要な人に伝えていきたい。そして、自分にも何ができるか考えたいです。

## ネリーズほっこりエピソード 街で見かけた、嬉しかった、笑顔・幸せになれた、これもネリーズかな？

毎日あちこち出掛けている、どう見ても後ろ姿が30代にしか見えない若々しくお元気なおじいちゃん。ある時「お若いんですね！」と声をかけたら「自分より体の大きい孫の送り迎えがあるからいつまでも元気でないと！」ですって!! 頑張るおじいちゃんに金メダル!! (関町の松田さん)



プライベートで中国発祥の花文字(※)をやっていますが、Instagramなどへ載せていると『上手だね!』とコメントがあつてうれしいです。花文字は出産祝い・結婚祝いなどに喜ばれています。(大泉学園町の木原さん)

※カラフルな顔料で文字や龍・鳥などのおめでたい絵柄を書いたもの。名前や好きな言葉を書いて部屋に飾ると良いとされる。



家の近くのガードレールのある歩道。左手に太い電柱があるところは自転車があるとすれ違いますが出来ません。いつも電柱の手前で待っていますが、みんなすまし顔で通り過ぎていきます。

ある朝同じように待っていると、自転車のお母さんから『すみませーん!』後ろに乗っていたお子さんからも『せーん!』と言われてびっくり! ほっこり!心地良い一日の始まりでした。(豊玉南のフィネスさん)



**地域福祉コーディネーターの『ほっこり玉手箱』日頃地域の皆様と一緒に話せる機会も多く、お話の中にもほっこりエピソードがたくさん!**

・町内を小さな子どもが一人で歩いていて、近くに大人がいなかったから声をかけて子どもを保護し、警察に連絡したらやっぱり迷子で親御さんが探していたお子さんだった。ちょっと地域に目を向けると、誰かの役に立てるのね。

・スーパーで白杖を持った高齢男性が目にとまり、目的の売り場まで案内しました。次にレジまで連れて行きましたが長い列でどうしようと思っていたら、他のお客さんが譲ってくださって男性の会計が早く済みました。周りのお客さんに感謝の気持ちでいっぱいになり、自分もとてもうれしい気持ちになりました。

・イベント会場で、隣の小さな女の子が私のマニキュアを気に入ってくれたのか手を伸ばしてきたけどちょっと届かない。彼女の眼を見て『頑張れ!』と心で応援しながら私も少しずつ手を彼女に伸ばしていつか“タッチ!”満足そうな女の子とアイコンタクトでの楽しいやり取りもできました。



### ◆お問合せ◆

社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会  
〒176-0012  
練馬区豊玉北 5-14-6 新練馬ビル 5階

<https://www.neri-shakyo.com/>  
E-mail/info@neri-shakyo.com  
TEL 03-3992-5600  
FAX 03-3994-1224



春めいて暖かい日が多くなってまいりました。お散歩がてら“ほっこり”探しにいきませんか? メールでも受け付けています☑ お待ちしております!!

